

【アクセス】



電車でご来院の方

- ◎ 南海高野線「浅香山駅」より南へ徒歩5分
- ◎ JR阪和線「浅香山駅」より西へ徒歩15分
- ◎ 阪堺線「綾ノ町駅」より東へ徒歩15分

バスでご来院の方

- ◎ 地下鉄御堂筋線「北花田駅」から「香ヶ丘」バス停下車すぐ(9系統 2番のりば 堺東駅前行)
- ◎ 南海高野線「堺東駅」から「香ヶ丘」バス停下車すぐ(9系統 4番のりば 河内天美駅前行)



車でご来院の方

- 【府道でお越しの場合】
- 大阪府道30号線(大阪和泉南線)の錦織町交差点を東へ300m
 - 大阪府道2号線(中央環状線)の向陵西町交差点を北に2km
 - 大阪府道28号線(ときはま線)の北花田交差点を西に2.5km

- 【各高速出口より 約10分】
- 阪神高速15号堺線 堺出口・住之江出口
 - 阪神高速6号大和川線 鉄砲出口・常盤出口
 - 阪神高速4号湾岸線 三宝出口



日本医療機能評価機構認定病院
基幹型臨床研修指定病院

公益財団法人 浅香山病院



〒590-0018 大阪府堺市堺区今池町3丁3番16号
TEL.072(229)4882(代) FAX.072(232)3787
<https://www.asakayama.or.jp>



公益財団法人総合病院 浅香山病院

HOSPITAL GUIDE
asakayama general hospital



医療・保健・福祉を地域の方々に提供しています



浅香山病院は、100年を超える伝統と新たな取り組みを融合させこの堺市北部の丘陵地に様々な施設を開設しました。

浅香山病院は大正11年(1922年)、人々に安息をもたらす場として、堺脳病院を開設したのが始まりです。昭和15年(1940年)、地域の一般医療資源の不足に貢献するべく浅香山保養所を開設しました。昭和25年(1950年)、社会貢献が認められ、財団法人浅香山病院となり、精神科のみならず幅広い総合病院として、患者さま本位の医療提供体制の確立を目指して参りました。

一般診療分野では「メディカルタワー東館」の急性期病棟で、循環器・消化器・呼吸器を中心とした内科24時間救急をはじめ、外科・整形外科・眼科・泌尿器科・皮膚科など、各診療科に優秀な専門スタッフ及び高度医療機器等を整備し、良質かつ適切な医療サービスが提供できるよう心掛けております。

「メディカルタワー西館」の回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟では在宅復帰を目指してのリハビリテーションを柱とし、緩和ケア病棟では尊厳のあるターミナルケアの実践を目指しています。加えて、併設型小規模老健での継続ケア体制によって切れ目のない地域包括ケアを提供いたします。

精神科診療では患者さまのニーズに適した治療・療養環境の充実に注力し、社会的要請の特に強い精神科救急病棟をはじめ、急性期治療病棟・認知症治療病棟・身体合併症病棟などの専門機能病棟を先駆けて整備してまいりました。患者さまの社会復帰に精神科総合リハビリテーション・就労支援を含めたトータル的な精神科医療の提供体制を築き、パイオニア的役割を果たしております。

高齢化社会での介護に対する療養環境整備にも積極的な取り組みを行ない、医療・保健・福祉を統合した“質の高い医療サービス”の提供を実践しています。皆さまから「愛され信頼される病院」として地域になくはならない役割を担ってまいります。

理事長 高橋 明

病院理念 — Hospital idea —

人々のために、地域のために、社会のために、健康と幸せを追求し、信頼される病院を目指します。

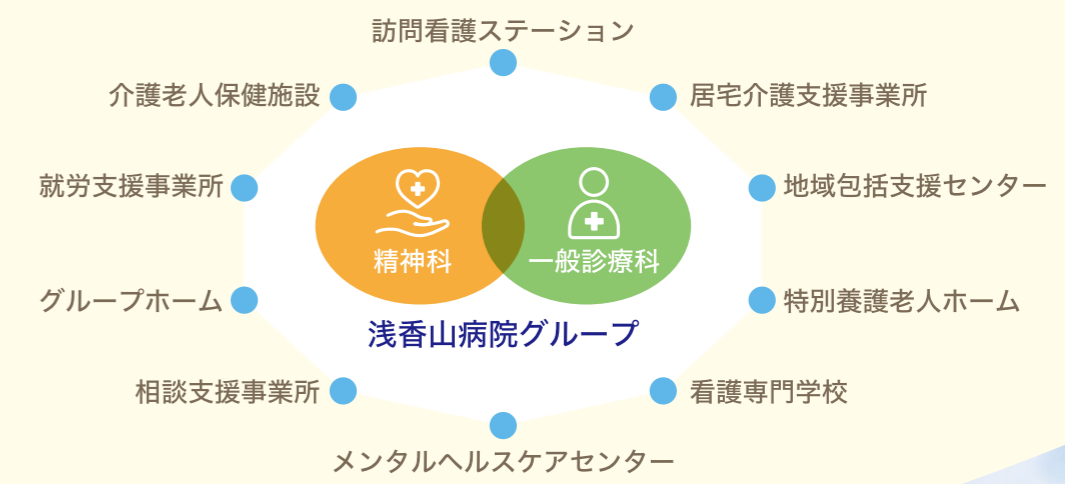
基本方針 — Basic policy —

1. 人権、倫理、安全 2. 医療の質 3. 人材育成 4. 組織管理

- 患者さまの人権の尊重と医療の倫理の遵守による安心できる医療を提供します。
- 患者さまの立場に立ち、説明と同意に基づく信頼ある医療を提供します。
- 質の高い医療技術と快適な療養環境の提供に努めます。
- 急性期医療から在宅医療までのトータル医療を提供し、地域に貢献できる病院を目指します。
- 精神保健福祉ネットワークの核となり、専門治療・社会復帰・在宅支援の推進を図ります。
- 医療従事者の研修や教育など積極的な人材育成に努め、教育機関としての役割を果たします。
- 組織管理の充実を図り、働きやすい職場づくりに努めます。

浅香山病院グループ

地域の方々のところとからだを支える総合病院です。急性期から回復期・社会復帰まで幅広くチーム医療で取り組んでいます。

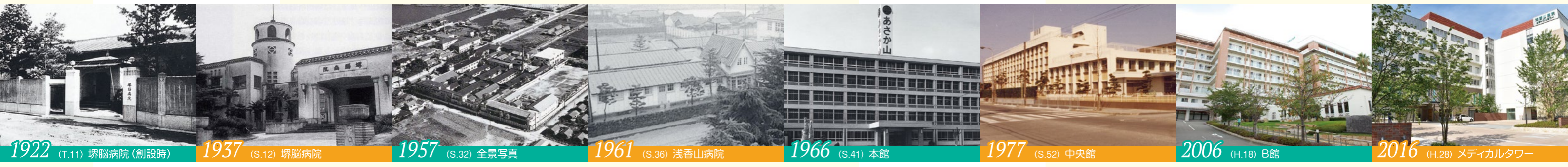


病院の沿革 — History of hospital —

大正11年の創立より現在に至るまで、長きにわたり地域医療に努めてきた浅香山病院。
そこにはもちろん、多くの方の尽力と支えがありました。

1922年 (大正11年) 11月	堺市北部の丘陵地に精神障害者の「安息の地」として堺脳病院を創設【120床】
1940年 (昭和15年) 4月	堺脳病院附属看護婦養成所を開設 浅香山保養所を開設 (精神科患者の内科合併症治療【9床】)
1948年 (昭和23年) 9月	浅香山保養所を浅香山病院 (内科専門病院) に名称変更【23床】
1950年 (昭和25年) 8月	日本経済の激動期に生活困窮者の医療救済を痛感し、病院の基本財産の一切の寄付行為を行ない厚生省の許可を得て、財団法人浅香山病院を設立【90床】
1957年 (昭和32年) 4月	財団法人浅香山病院附属看護学院を開設
1958年 (昭和33年) 10月	香ヶ丘保養院竣工
1960年 (昭和35年) 11月	総合病院の許可を受ける
1961年 (昭和36年) 4月	堺脳病院と浅香山病院を合併【精神722床・結核300床・一般203床】
7月	北病棟竣工
1966年 (昭和41年) 12月	本館竣工【精神1112床・結核118床・一般193床】
1971年 (昭和46年) 4月	附属看護学院を廃し、附属高等看護学院を開設
1972年 (昭和47年) 9月	新館 (現C館) 竣工【精神1117床・結核59床・一般252床】

2001年 (平成13年) 4月	精神障害者社会復帰施設「アンダンテ」(現障害福祉サービス事業所アンダンテ) 開設 財団法人浅香山病院看護専門学校新設移転 (3年課程へ変更)
2002年 (平成14年) 7月	堺東クリニック (人工透析・泌尿器科) 開設 →2011年7月、本院透析センターと統合により閉院
2003年 (平成15年) 5月	回復期リハビリテーション病棟 (療養病棟) 開棟【精神995床・一般152床・療養96床】
2004年 (平成16年) 4月	厚生労働省より臨床研修指定病院の指定を受ける
2005年 (平成17年) 4月	日本医療機能評価機構認定取得 (Ver.4.0)
6月	B館高層棟竣工【精神948床・一般152床・療養96床】 新館病棟をC館病棟に名称変更
9月	難波クリニック開設 (心療内科・精神科・神経科) →2021年10月閉院
2006年 (平成18年) 6月	B館低層棟竣工【精神948床・一般152床・療養96床】
2008年 (平成20年) 4月	就労支援事業 (就労ステーション) 開始
9月	精神科救急入院料 (スーパー救急) 取得
2009年 (平成21年) 4月	厚生労働省からDPC対象病院の認可を受ける
8月	浅香山病院ケアプランセンター (居宅介護支援事業) 開設
2010年 (平成22年) 4月	メンタルヘルスケアセンター「フィオーレ」開設
4月	日本医療機能評価機構認定取得 (Ver.6.0)
8月	ハイケアユニット入院医療管理料取得
2011年 (平成23年) 8月	人工透析センター竣工
9月	社会福祉法人浅香山記念会 地域密着型特別養護老人ホーム「かーさ・びあんか三国ヶ丘」開設



1976年 (昭和51年) 4月	附属高等看護学院を財団法人浅香山病院看護専門学校に名称変更
1977年 (昭和52年) 2月	中央館竣工【精神1117床・結核59床・一般250床】
1980年 (昭和55年) 7月	西館竣工【精神1091床・一般263床】
1982年 (昭和57年) 10月	西病棟竣工【精神1168床・一般199床】
1983年 (昭和58年) 11月	財団法人浅香山病院附属診療所を開設 (精神科デイケア施設)
1990年 (平成2年) 6月	大阪府老人性痴呆疾患センター (現認知症疾患医療センター) 事業開始
1995年 (平成7年) 3月	ひまわり訪問看護ステーション開設
1996年 (平成8年) 5月	老人保健施設「みあ・かーさ」開設 (在宅介護支援センター併設)
1997年 (平成9年) 3月	内科救急開始 (初期救急・二次救急)
1998年 (平成10年) 1月	職員寮「ラ・ビオラ」竣工 (ワンルームマンション型100室)
1999年 (平成11年) 6月	A館竣工【精神995床・一般248床】
2000年 (平成12年) 3月	社会福祉法人浅香山記念会 特別養護老人ホーム「かーさ・びあんか」開設 (ヘルパーステーション併設)
4月	介護療養病棟開棟【精神995床・一般172床・療養76床】

2012年 (平成24年) 4月	「公益財団法人 浅香山病院」へ法人名称変更
2013年 (平成25年) 4月	一般科新病院「メディカルタワー」東館竣工【精神948床・一般185床・療養38床】
11月	電子カルテ導入
2014年 (平成26年) 7月	介護療養病棟を急性期病棟に機能移行【精神948床・一般223床】
10月	地域包括ケア病棟入院料取得
2015年 (平成27年) 3月	日本医療機能評価機構認定取得 (評価体系3rdG:ver.1.0)
5月	一般科新病院「メディカルタワー」西館竣工
6月	緩和ケア病棟入院料取得
2016年 (平成28年) 6月	地域移行機能強化病棟入院料取得
2017年 (平成29年) 4月	臨床研究研修センター設置
2018年 (平成30年) 4月	小規模介護老人保健施設「かーさ・あもーれ」開設
2020年 (令和2年) 6月	日本医療機能評価機構認定取得 (評価体系3rdG:ver.2.0)
2022年 (令和4年) 11月	創立100周年
2024年 (令和6年) 3月	紹介受診重点医療機関に選定される

病院概要 — Outline of hospital —

創 立	1922年(大正11年)11月
名 称	公益財団法人総合病院 浅香山病院
総 院 長	田原 旭
病 床 数	979床(精神病床 756床・一般病床 223床)
診療科目	<ul style="list-style-type: none"> ・内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科 ・糖尿病内科・緩和ケア内科・外科・消化器外科・形成外科 ・内視鏡外科・泌尿器科(人工透析)・整形外科・眼科 ・リハビリテーション科・放射線科・皮膚科・婦人科 ・耳鼻咽喉科・麻酔科・歯科・神経内科・心療内科・精神科
敷地面積	32,094.80㎡ 延床面積 63,775.73㎡
認定施設	保険医療機関 紹介受診重点医療機関 労災指定医療機関 生活保護法等指定医療機関 結核指定医療機関 被爆者一般疾病医療機関指定 臨床研修指定病院 救急告示医療機関(内科・精神科) 難病指定医療機関 指定自立支援医療機関(精神通院医療・更生医療(腎臓/心臓脈管外科に関する医療)) 精神科救急医療施設指定 指定病院(精神保健福祉法) 応急入院指定病院(精神保健福祉法) 特定病院認定(精神保健福祉法) 特例措置を採ることができる応急入院指定病院(精神保健福祉法) 無料低額診療事業実施医療機関

施設紹介 — Facility description —

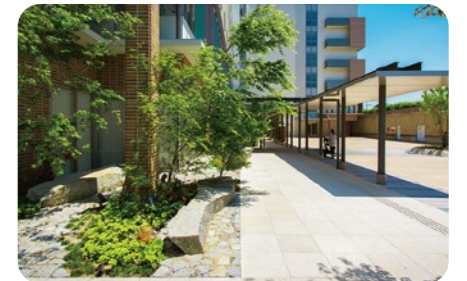
浅香山病院は、患者さまに治療を提供する場としてだけでなく、癒しも提供できるように施設の随所に工夫を凝らしています。



《浅香山病院のこだわり》

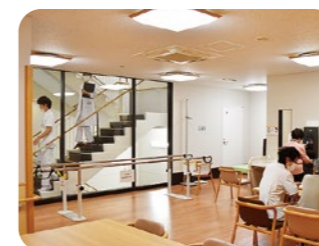
1. みどり・ヒートアイランド対策

浅香山病院はみどりの多い暖かみのある空間を目指し、街に開かれた緑豊かな病院を創出しています。西館3階(回復期リハビリテーション病棟)に屋上庭園きぼうの広場を設置しています。リハビリの場としてだけでなく、四季折々の樹木を植えることで敷地内の温熱環境を向上するよう工夫しています。



2. 省エネ対策・自然エネルギーの活用

明るさを創出する照明器具を採用し、LEDやセンサー制御を積極的に用いることで照明エネルギーを低減しています。また雨水や空調機器で発生した水をトイレ洗浄水や外構散水に利用しています。



3. 病院の歴史の継承・内部空間形成



一般科病院建替の際に伐採した樹木を活用したモニュメント等を製作することで、病院の歴史を継承しています。そして屋内階段や廊下の突き当たりに窓を設置するなど、自然採光による穏やかな室内環境となるよう工夫しています。

「白塔」

当院では近年建物の改築・新築などによって外観は大きく変化してきましたが、その一方で1937年(昭和12年)に建築された「白塔」を現在に受け継いでいます。国の登録有形文化財として登録されている「白塔」は、教会建築に由来した建築様式(スパニッシュスタイル)を用いた、白い外壁と赤いスペイン瓦の色の対比が印象的で、白塔部分のアーチ型の窓や鳩小屋風の塔などの特徴をもっています。



やすらぎ 石碑「安息の丘」

石碑「安息の丘」には、堺市出身の詩人安西冬衛氏が当院を詠んだ詩が刻まれており、大正11年に心を病む人々のために安息をもたらす場として創設された当院の歴史を今に受け継いでいます。



診療科のご案内

内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・糖尿病内科・緩和ケア科・外科・消化器外科・内視鏡外科・泌尿器科(人工透析)・整形外科・リハビリテーション科・眼科・皮膚科・麻酔科・放射線科・婦人科・耳鼻咽喉科・形成外科・歯科・神経内科・心療内科・精神科



高水準の専門医療を提供します

浅香山病院は24診療科を標榜しており、当院のスタートとなった精神科医療は元より、一般診療分野においても、各診療科において専門医療を提供できる体制を整えています。

救急医療

浅香山病院は急増する救急(急性期)疾患への地域ニーズに応えるため、24時間365日体制での内科救急を行っています。最新設備の整った救急センターを設置し、内科各専門分野における経験豊富な専門医によって迅速かつ適切な医療を提供しています。また、精神科においても救急指定病院・応急入院指定病院として緊急時における迅速な受け入れを行っています。



内科

《循環器内科》

堺市北部における循環器救急医療の一角を担うべく、消防本部とのホットライン(ハートコール)を結ぶなど24時間体制で受け入れを行っています。また、緊急な虚血性心疾患に対しての緊急カテーテル検査も24時間体制を整え、カテーテルを用いた積極的なインターベンション治療により、早期の退院・社会復帰を目指しています。

《消化器内科》

消化器疾患の急性期医療を担う堺市北部の病院として、緊急内視鏡を含め、消化管疾患から肝胆膵疾患に至るまで幅広く対応しています。

《呼吸器内科》

急性期から慢性期まであらゆる呼吸器疾患(気管支喘息、呼吸器感染症、肺癌、びまん性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患=COPD、睡眠時無呼吸症候群など)に対しての幅広い診断と治療を行っています。



緩和ケア科

終末期の身体の苦痛だけでなく、精神的な苦痛を和らげ、自分らしい生活を送っていただけるサポートに努めています。病名診断後から早期介入し、多職種と連携しながらチームケアを行っています。

外科・消化器外科・内視鏡外科

外傷や腫瘍切除・鼠径ヘルニアなどの一般外科をはじめ、消化器外科を中心とする肝胆膵疾患や、内分泌外科・呼吸器外科・末梢血管外科など専門分野における外科的治療を行っています。また、腹腔鏡や胸腔鏡などの鏡視下手術を積極的に取り入れ、安全で侵襲の少ない質の高い医療を提供しています。



整形外科

骨折等の整形外科的外傷疾患や慢性関節疾患および脊椎疾患などに対応しています。大腿骨頸部骨折の手術をはじめとする手術も行っています。また、術後はリハビリテーション科と連携し早期の在宅復帰と機能回復を目指したりリハビリテーションを実施しています。

眼科

静的視野計、光干渉断層計などの機器を用いて、網膜疾患や緑内障の早期診断を行っています。また、眼表面疾患から神経眼科まで幅広い疾患領域について、対応しています。糖尿病など全身疾患の眼合併症に対しても他科と連携を取りながら、治療を行っています。

麻酔科

医療技術の進歩に伴う手術の高度化に対するため、周術期の安全管理を担当し、手術前の術前診察や、術中は麻酔による疼痛の除去や全身状態の管理を行っています。

歯科

一般歯科診療・障害者歯科・嚥下外来などを行っています。嚥下障害の方には、嚥下造影検査を行ない、出来るだけ正確な評価に努めています。

放射線科

外来や入院患者さまの撮影及び画像の読影診断を医師と技師の連携のもと、迅速かつ正確な診断ができるよう日々努めています。また、患者さまが安全に正しく放射線診断を受けていただけるような環境整備やサービス向上に努めています。



泌尿器科

尿路結石、尿路感染症、前立腺疾患、尿路悪性腫瘍(癌)などに対応しています。リトクラスト・硬性尿管鏡による尿路結石治療、膀胱腫瘍や前立腺肥大症に対する生食灌流による経尿道的切除(TURis)を中心とする様々な手術を行っています。必要に応じ、大阪公立大学と連携して診療しています。

リハビリテーション科

早期の社会復帰のため、専門医・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が密に連携し積極的な機能回復訓練を行っています。整形外科手術後や入院中の体力低下・機能障害に対するリハビリテーションのほか、脳血管疾患や呼吸器疾患など様々な症状に対し回復を支援しています。

皮膚科

アトピー性皮膚炎・アレルギー疾患・薬疹・蕁麻疹・爪白癬(みずむし)・帯状疱疹(ヘルペス)・皮膚腫瘍・皮膚潰瘍など入院加療を含めた皮膚科全般の診療を行い、個々の患者さまの症状に合わせた治療法を選択しています。乾癬治療では、従来の紫外線療法に加え生物学的製剤の導入を積極的に行っています。美容皮膚科の分野では、しみに対する美白剤の処方(自費治療)・まつ毛治療のグラッシュビスタ(自費治療)・巻き爪に対するVHOワイヤー・ピアスの穴あけ(自費治療)なども行っています。



精神科

精神科診療は、統合失調症・うつ病・神経症・睡眠障害・認知症をはじめ幅広い精神疾患に対応しています。地域における精神科医療の基幹病院として、これまで以上に社会の要請に応えるべく、精神科救急医療に取り組み、精神科急性期治療、身体合併症治療、認知症治療など、精神科医療の専門性を重視し、12ある精神科病棟をそれぞれの医療機能に応じた療養環境を整備することによって、質の高い医療を提供しています。また、経験豊富な医師や看護師をはじめ、各専門職のスタッフを質・量共に充実させており、心理療法(個別もしくは集団)・作業療法・デイケア・ナイトケア・就労支援事業などの精神科リハビリテーションを積極的に展開し、訪問看護ステーションとの連携により安心した生活が送れる様に患者さまお一人おひとりの症状に合わせた適切な治療を行っています。





質の高い医療を提供します

それぞれの患者さまに適した医療と環境を提供するため、急性期から慢性期に至るまで様々な病棟機能を整備しています。中でも、精神疾患と身体疾患を有する合併症患者さまに対する治療を提供するための全国的にも数少ない専用病棟を設置しており、総合的な治療が提供できる体制を整えています。

一般診療分野における医療提供体制

ハイケアユニット (HCU)

救急搬送後や手術後など、濃厚な集中治療が必要な患者さまを中心に診療を行なっています。病室は、治療効率や空気清浄度を高め、感染管理や心理的なストレス、プライバシーへの配慮を重視した個室仕様の空間となっています。また、病室の入口は、ベッドごとの移動や医療機器の移動を考慮した集中治療専用のフルオープンドアを採用しています。



急性期病棟(一般病床)

症状に応じて集中的治療が必要な患者さまを中心に治療を行なっております。内科系病棟では、循環器・消化器・呼吸器疾患を中心とした内科全般の急性期疾患に対して高水準の医療を提供し、外科系病棟においては、最先端の医療(技術)を積極的に取り入れ、より安全で有用性が高く侵襲の少ない質の高い医療を提供しています。



地域包括ケア病棟

急性期治療を終えた患者さまで、すぐに在宅や施設に移るには不安が残る高齢患者さまを対象とし、集中的に医療管理、診療、看護、リハビリを行ない、在宅復帰を目指しています。患者さまやそのご家族が抱く生活や介護(食事やおむつ交換・介護保険等)の不安を少しでも解消するためにテーマごとにパンフレットを作成し、患者さまらしい生活を尊重した退院支援を行えるよう努めています。



回復期リハビリテーション病棟

急性期治療を終えた患者さまに対して、ADL(日常生活動作)能力の向上による寝たきりの防止と在宅復帰を目的としたリハビリテーションプログラムを、医師・看護師・リハビリスタッフが共同で作成し、プログラムに基づいたリハビリテーションを集中的に行なっています。

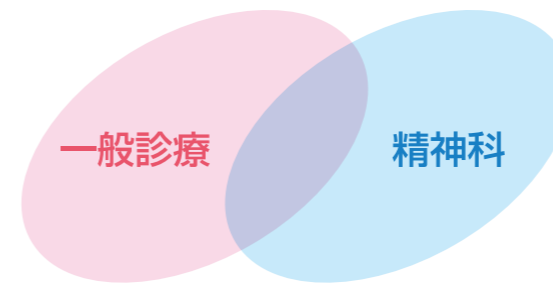


緩和ケア病棟

がん等の病気による身体の苦痛やそれに伴う心の辛さを持つ患者さま・ご家族を対象にその辛さを出来るだけ取り除けるようケアし、生きる力を取り戻すための支援を専門的に行なっています。自分らしい生活を送っていただけるようサポートに努めています。



精神疾患と身体疾患を有する患者さまにおける医療提供体制



精神・身体合併症病棟

精神科治療中に身体疾患の入院治療が必要となった方々に対して、身体的治療を中心に精神的ケアを併用して行ない、精神症状が安定した中で有効な治療(手術・処置など)が行なえる体制を整えています。



精神科における医療提供体制

精神科救急病棟

社会的要請の特に強い超急性期の精神科入院治療の充実を図るため、設備面のみならずスタッフ面を充実した治療環境のもと、入院初期から心身両面に十分な配慮をした集中的治療を行ない、同時に退院後の支援を行なえる体制を整えています。



精神科急性期治療病棟

精神症状が悪化した急性期の集中的な治療を提供しており、急性症状の鎮静を最優先に心身の安静に努め、患者さまの症状や状態を理解・把握し、症状に合った様々な治療(薬物療法・精神療法・精神科リハビリテーション・社会療法など)を行なっています。



精神科一般病棟

急性症状の繰り返しや中長期にわたる段階的な治療を必要とする方々の治療を行なっています。また、社会復帰を目指した社会生活技能訓練(SST)などが必要な中高年層の患者さまや、身体的ケアと精神的ケアが必要な合併症の患者さま等を対象に、治療を行なっています。



精神科療養病棟

急性症状の段階的治療により、症状の安定した方々が、短時間で家庭や社会に復帰できるように、日常生活指導や社会生活技能訓練(SST)などのセルフケア能力を高める療養プログラムを積極的に取り入れ、症状にあった様々な治療を行なっています。



認知症治療病棟

心理的混乱の著しい認知症の患者さまに対して集中的な早期治療を行なう一方、患者さまの喜びや生きがいを共有し、認知症に伴う行動や症状を温かく見守る環境を重視しています。また、生活機能回復訓練を行ない、認知症に伴う行動・症状の軽減に努めています。



地域移行機能強化病棟

「多職種と連携し、長期入院患者さまの今後の人生への思いを聴き、地域への退院に繋がります」を病棟理念に、一人でも多くの患者さまを地域へ送り出すために取り組み、退院後も安心して地域生活を送ることができるよう充実したケアの提供に努めています。





医療の質



総合力でチーム医療のレベルアップを目指します

SCIENCE - 科学的に -

浅香山病院は、より質の高い医療を提供するため、様々な高度先進機器を導入しています。それによって、迅速かつ正確な診断と治療を皆さまに提供しています。また、地域の医療機関との共同利用も積極的に行ない、地域に開かれた病院を目指しています。

放射線室



診療放射線技師が、最新の放射線機器を駆使し高精度な放射線診療を行なっています。技師全員がどの検査にも対応でき、医療被ばく低減を目標に掲げ、診断に有用な画像を得るために日々努めています。また地域医療に貢献すべく、開業医・医療機関の先生方からの検査依頼にも対応しています。そして、近年進歩し続ける技術や多様化する診療放射線技師の専門性に対応して、よりよい医療を提供できるように各種の専門・認定資格制度の取得にも力を入れています。

血管造影装置(アンギオグラフィー)

Azurion7C20(フィリップス社製)



カテーテルを冠動脈などの目的の部位まで挿入し、造影剤を注入して血管を撮影する検査です。血管造影装置は血管造影検査だけでなく、カテーテルを利用して薬剤を患部に直接注入する治療や、心臓の狭くなった血管を広げる治療など、虚血性心疾患に対する質の高い様々な治療にも有効です。

核医学診断装置(RI)

ガンマカメラシステム E-CAM(シーメンス社製)



ラジオアイソトープ(放射性医薬品)が臓器(脳・心臓・内臓・骨など)に集まる性質を利用して、γ線(ガンマ線)の放出をガンマカメラで撮像し、臓器の機能(働き)と形態的变化により、病気の診断を行います。検査時間は30分~45分程度です。

救急センター



救急センターでは、内科系疾患(初期・二次救急)の救急患者さまの治療を行なっています。センター内には、3名の同時対応が可能な処置スペースを設け、点滴加療が必要な患者さまには、併設している専用の点滴室を使用いただき、救急用のベッドを常に確保できる体制を整えています。また、救急車以外で来院された救急患者さまを対象に2つの診察室を設置し、うち1つは、インフルエンザなどの飛沫感染を防げる陰圧設計の診察室です。

中央臨床検査部



高精度の臨床検査機器及び臨床検査システムを導入し、精度の高い血液検査、細菌検査を行なっています。中央臨床検査室の真下に位置する採血室では、外来患者さまの採血・採尿を行なっています。また生理検査室では心電図・呼吸機能検査・睡眠時無呼吸検査等各種検査と超音波(エコー)検査を行っています。迅速かつ正確な検査報告により、早期発見・早期治療につながるようサポートしています。

人工透析センター



人工透析センターは、院内における独立した部門としてベッド数35床を有し、運営しています。フロア内のアメニティの空間配慮はもろろのこと、間隔1m以上を有したベッドスペースや陰圧個室(2床)の設置など感染管理に十分配慮した透析センターとして、質の高い医療と過ごしやすい治療環境を提供しております。

320列マルチスライスCT

Aquilion ONE(キヤノン製)



16cmもの広範囲を短時間(最短0.35秒)に撮影することが可能で、拍動する心臓も、ぶれることなく鮮明にとらえることができます。また、撮影時間の短縮や高性能の画像再構成機能により、放射線被ばくや造影剤使用の低減を実現でき、高画質な立体画像(3D画像)も撮影することが可能です。検査時間は10分~30分程度です。

磁気共鳴断層撮影装置(MRI)

Ingenia 1.5T(フィリップス社製)



人体に電磁波を当てることによって発せられる信号を利用し、その信号をコンピュータ処理によりデジタル画像化するもので、脳の血管撮影などが簡単にできることから脳卒中などの診断に有効です。また、全身の病気を鮮明な画像で描出することが出来ます。検査による痛みはありません。また、X線は使いませんので、CTと違って被ばくはありません。

内視鏡センター



内視鏡センターでは、消化管・胆道疾患等に対して様々な上部・下部内視鏡検査や胆膵内視鏡検査を行なっています。検査前に必要な処置を行なう前処置室や検査後のリカバリールーム(回復室)、シャワールームを設置し、より安全で快適な環境下で、高度な専門医療を提供できるよう努めています。

外来化学療法室



当院化学療法室はリクライニングチェア3床と2床のベッドで各床にテレビを設置しており、リラックスして治療時間を過ごすことができます。医師、看護師、薬剤師など多くのスタッフがチームで、患者さまが安全に安心して外来での治療が継続できるように、治療についての説明と日常生活上の留意点のご説明やご相談に対応しています。

医療の質



SUPPORT - 支える -

浅香山病院は、患者さまに対してより充実した専門的なサポートを行なえるよう、細分化された診療機能を有し、様々なニーズに応えています。また、精神科分野では、総合的なリハビリテーションを精神科医療の歴史においても他に先駆けて行なっています。

リハビリテーション室



[理学療法]

理学療法士による整形外科疾患や脳卒中(片麻痺)の外來患者さま、術後や急性期疾患の入院患者さまに対する早期リハビリテーションを中心に行なっています。また、回復期リハビリテーション病棟では、専従スタッフによる365日リハビリテーションを提供しており、心身機能及び生活能力の改善、早期の在宅復帰を支援しています。

[作業療法]

作業療法士による脳血管疾患や骨関節疾患などでご入院されている患者さまに対する心身機能訓練から日常生活活動・住環境整備までのきめ細やかな作業療法を展開しており、安心した家庭生活への復帰をサポートしています。

[言語聴覚療法]

言語聴覚士による主に脳血管疾患後の失語症、構音障害等の患者さまに対するリハビリテーションを行なっています。また、摂食嚥下障害のある患者さまに対して安全に食べていただけるよう支援しています。

精神科作業療法室(OT室)



[精神科OT]

精神疾患をもつ患者さまが、より快適な生活を送れるようになることを目指します。個人活動や集団を利用した精神療法的作業療法を提供しています。

[認知症病棟OT]

認知症による精神症状及び行動障害や日常生活活動の低下をきたした入院患者さまに対し、作業活動の提供やコミュニケーションの促進、環境の調整などにより早期退院に向けた援助を行なっています。

医療福祉相談室



患者さまに安心して療養いただけるよう、生活上の困難や障害について、ソーシャルワーカーが社会資源の活用、開発、調整を行っています。また地域移行を促進することを目的とした支援にも取り組んでいます。

臨床心理室



臨床心理室では、年齢に関わらず、そして健康な方から障がいのある方まで幅広い人々を対象に、臨床心理学に基づいた心理療法(個人・集団)、心理検査などに専門の公認心理師が積極的に取り組んでいます。

[個人療法]

個人心理療法の対象は、神経症・人格障害・抑うつ状態・統合失調症などと診断された方や適応障害あるいは高齢の方々です。

精神医療における総合的な治療機関として、様々な症状や悩みに対応するために、対話を通して治療的援助を行っています。

個人療法は予約制で、精神科診察と同日で1回30分から1時間です。

[集団心理療法]

集団心理療法では、症状や状態に応じていくつかのグループがあります。

- ◎入院集団心理療法

 1. 高齢で抑うつ状態の方
 2. 重度慢性統合失調症の方
 3. 認知症の方に「回想法」
 4. 心理教育

[心理検査]

心理検査は診療補助や認知症の鑑別診断、性格特徴の把握などを目的としています。知能・発達検査や性格検査などの複数の検査を行っています。

デイケア室



精神科リハビリテーションの一環として、医師・看護師・作業療法士・精神保健福祉士・臨床心理技術者等が医療チームを組み、参加メンバーの地域生活の支援を行なっています。

デイケアは「家にこもりがちで、日中通える場所がほしい」「退院後の生活が不安」など、社会生活上の課題を抱えている方のための通所施設です。

当院には以下の2種類のデイケアがあります。

[A館デイケア]

レクリエーション・スポーツ・話し合い・創作活動など、プログラムを通じて社会復帰活動の支援を行ない、様々な個別相談にも応じています。また、夕方から夜にかけてのナイトケアと、日中から夜にかけてのデイナイトケアもあります。

[デイケアサロン]

軽食喫茶・売店・カラオケルーム・図書室・古着コーナーなどの営業活動を通じて希望する活動をいきいきと行っていたりできるような環境を提供しています。

患者サポート室

当院では、患者サポート室(相談窓口)に専従職員を配置しています。日々の入院・外来患者さまやご家族からの相談にお応えしています。例えば、病気・治療に関する疑問並びに生活上、入院時の不安等を解消するためのお手伝いをさせていただきます。また、これら以外の様々な相談内容にも適切な専門部門と連携し、問題解決に協力させていただきます。



医療の質



SAFETY - 安全に -

浅香山病院は、「医療の質の向上」を常に考え、また患者さまに対して「安全で良質の医療」を提供できるよう様々な取り組みを行っています。また、これらの取り組みは、医師・看護師をはじめ様々な医療スタッフによって構成され、各専門分野の知識や技術を生かしたチーム医療を行っています。

薬剤部



患者さまの治療における薬物療法が有効かつ安全であるために、薬のスペシャリストが医薬品の調剤・製剤・管理や服薬指導などを行なっています。

[臨床試験管理]

患者さまのご協力のもとに行なわれる新医薬品の臨床開発試験に関連する様々な調整や使用する薬剤の管理を行なっています。

[医薬品情報管理(DI室)]

医薬品に関する情報の収集・管理と医師をはじめ医療スタッフへの正確かつ迅速な医薬品情報の提供を行なっており、特に緊急安全性情報の伝達については即日対応しています。また、院内医薬品集の作成、院内副作用情報の収集なども行なっています。

日本医療機能評価基準認定



第三者機関である(公財)日本医療機能評価機構による、医療の質や安全をはじめとする病院運営に関する様々な項目における審査を受け、基準に満たす病院であると認められました。

安心安全の入院治療



DPC対象病院として、患者さまに効率的で透明性の高い医療を提供しています。治療の経過を患者さまと共有するクリニカルパスの活用・インフォームドコンセントの徹底により、安心して入院生活を送っていただけるよう努めています。また、多職種や地域の医療・介護・行政等の担当者との連携を図り、退院後の地域での暮らしを見据えた支援を行います。

栄養科・給食課



栄養科・給食課では、ご入院患者さまの毎日の献立を考え、作りたての食事を提供しています。栄養管理は全ての治療において大変重要なことであり、栄養不良が続くと治療に対する十分な効果を発揮できません。当院では栄養管理に重点を置き、管理栄養士が栄養指導を実施するほか、医師・管理栄養士・薬剤師・看護師などの多職種で構成されるNST(栄養サポートチーム)が活動し、より質の高い医療の提供を支えています。

ME室 (Medical Engineering Center)



人工透析、特殊血液浄化、人工呼吸器、IABP、ECMOなどの生命維持装置・麻酔器、電気メスなどの手術関連機器・輸液ポンプ、シリンジポンプ、生体情報モニタなどの医療機器の操作や保守管理を行なっています。透析センター、手術室、心臓カテーテル検査、RST(呼吸療法サポートチーム)などは医師、看護師、コメディカルが専門性を発揮できるチーム医療を行なっています。そのほか、医療機器の正しい使用方法の院内教育なども定期的に行なっています。

組織横断的専門部署の設置

安全な医療を提供するため、組織横断的な専門部署として医療安全管理室及び感染管理室を設置し、事故を未然に防ぐ環境づくりを行なうための情報収集・分析・改善や、教育活動、情報発信、医薬品・医療機器の安全管理などを行ない、患者さまに安全で質の高い医療を提供できるよう努めています。

[医療安全管理室]

患者さまと職員の安全を守り、安全な医療を提供し、安心して医療を受けていただける環境をつくるため、各部門のリスクマネージャーと共に医療事故の再発防止・未然防止対策に取り組んでいます。



[感染管理室]

感染管理専従看護師が配属され、医療安全管理室とともに安全な医療を推進するため業務に励んでいます。感染管理の目的は、患者さまや訪問者さま、医療従事者を医療に関連した感染から守ることです。医療の高度化・患者の高齢化・薬剤耐性菌の増加に伴い、複雑化する医療現場の感染対策全般を総括し、院内感染防止委員会、感染制御チーム等を調整しながら活動しております。





私たちは皆さまに信頼していただけるよう、倫理的感性を高く持ち、知識・技術・あきらめない情熱でやさしさと温もりのある看護の提供を目指しています

心と身体の両面から患者さまをサポートするため、確かな看護技術とともに患者さまの心に添える気づきと思いやりを持った看護師の育成に力を注いでいます。的確な判断能力と豊かな感性を磨き、きめ細かく行き届いた看護を提供することで、チーム医療の中で力を発揮します。

① 探究心 —investigation—

科学的探究心をもち続けるために

地域共生生活社会推進の時代に多様化する医療ニーズに対応するためには、看護師として科学的探究心を持ち続けることが大切であると考えています。看護部では「学ぶ」ことに対する喜びから様々な「気づき」を得るための院内研修に力を注いでいます。



② 向上心 —aspiration—

専門知識・技術の向上を図るために

患者さまの人権最優先の立場で個々に応じた看護ケアをより専門的に展開するため、専門分野における専門・認定看護師を効果的に活用し、専門知識と技術の向上を通じて、より質の高い看護を提供できるよう取り組んでいます。



③ 団結心 —teamwork—

コミュニケーションの向上を目指して

スタッフ間のコミュニケーションを深めることにより、チーム力の向上を図り、患者さまにより行き届いた看護を提供しています。また、患者さまの不安や苦痛を解消するため、心と心の繋がりを大切にしています。

看護部理念

個を尊重する温かな心で、セルフケアを支援します。

看護部理念のキーワードは「個の尊重」と「セルフケアの支援」です。病や障がいを持ちながらも地域や住宅を拠点にその人の暮らしを支えることがさらに求められる時代です。

私たちは育みあい、看護観を醸成していくことを使命と考えています。その使命は、私たちの対象者が、その人らしい人生を送ることができるように、意思決定を支え、より良い支援を提供する看護につながっていきます。

互いを思いやり、気遣い、心配りができることで、対象となる人々の尊厳を護り、ひいては、看護の楽しさ喜び・笑顔で働き続けられる看護部組織となっていきます。

私たちは、対象者により良い人生を送っていただくために、専門的知識と技術を高め、シームレスな連携を図り、対象者が求めるニーズに沿う看護を提供していきます。

専門・認定看護師

多様なヘルスケアニーズを持つ患者さま・ご家族に対してより質の高い看護を提供することができるよう、専門看護師・認定看護師の資格取得にも力を注いでいます。部署をまたいで活躍しており、医療の質の向上や高齢者ケアの充実に貢献しています。

《専門・認定看護師の役割》

- ・院内外の連携
- ・コンサルテーション（相談）
- ・研修等の教育 など

一般診療科で治療中の方も、認知症を含む精神科分野について専門的知識を活かした支援を実践しています。

- ・感染症看護専門看護師
- ・感染管理認定看護師
- ・救急看護認定看護師
- ・手術看護認定看護師
- ・認定看護管理者
- ・皮膚・排泄ケア認定看護師
- ・がん化学療法看護認定看護師
- ・回復期リハビリテーション看護師
- ・日本糖尿病療養指導士

- 【精神科分野】
- 精神看護専門看護師
 - 認知症看護認定看護師
 - 精神科認定看護師

看護相談外来

専門的な知識や技術を持った看護師が、医師と連携・協力して、患者さまが疾病や障がいを持ちながらも社会の中で自立した生活を送ることが出来るように、必要な情報を提供し、継続してケアを行なっています。



ストーマケア外来

自宅でのストーマケアに自信が持てるように支援しています。

慢性心不全看護外来

心不全の進行予防、増悪による再入院回避を目標に、生活の中で自己管理を継続していくよう支援しています。

糖尿病看護外来

患者さま自身が糖尿病をコントロールしながら自宅で生活できるよう指導しています。

CKD(慢性腎臓病)看護外来

腎臓病の進行を抑えられるよう生活指導をし、患者さまの不安や悩み事も含めて問題解決に取り組んでいます。

もの忘れ相談外来

認知症かもしれないと不安を抱えている患者さま・ご家族の相談をお受けし、支援しています。

認知症看護相談外来

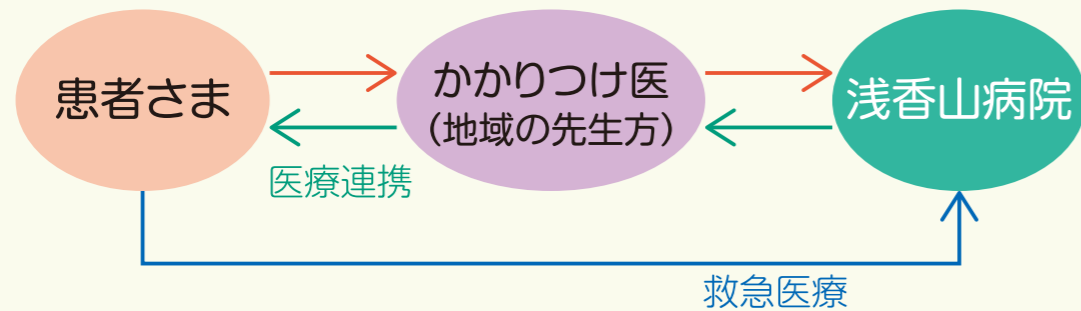
認知症の病気の理解、介護・心理的支援を行う外来です。

精神科看護相談外来

認定看護師や入院時の担当看護師が、退院後の患者さまの地域定着を支えています。

地域医療への貢献を目指します

浅香山病院では、地域の開業医の先生方や医療機関との連携を深めるための専門部署（地域医療連携室・精神科医療連携室）を設置し、地域医療に貢献できるよう努めています。また、地域の先生方を対象とした勉強会である「浅香山臨床研究会」や「浅香山精神科研究会」を定期的に開催し、更なる地域医療への貢献を目指します。



地域医療連携室

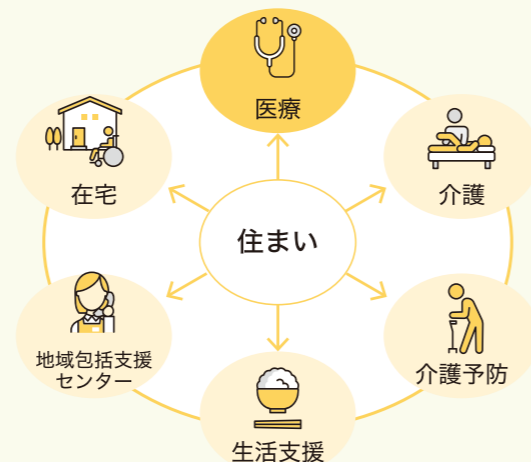
専属の看護師や医療福祉相談員を配属し、院内での情報交換を密に行っています。患者さまの受診（入院）から退院（治療後）まで一貫して関わり、当院での治療後は紹介いただいた先生方の元へ、また安心して地域（在宅）へ戻っていただくことを重要な役割と考え、更なる地域医療への貢献を目指しています。

精神科医療連携室

精神の症状が現れた患者さまのスムーズな受け入れを図るため、精神科領域における受診相談・入院相談を行なっています。地域の開業医の先生方や地域の医療機関、施設からの相談・紹介の対応はもちろんのこと、診察もしくは入院を希望される方やご家族からのご相談や初診予約にも対応しています。

切れ目のない地域包括ケアシステムの提供を目指して…

「地域包括ケアシステム」とは、いくつになっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるように地域内で助け合う仕組みのことをいいます。救急から急性期、リハビリ、介護、生活支援まで、様々な施設や多職種でのチーム医療が提供できる強みを活かして、地域の医療機関や施設と協力して、医療・介護・予防・生活支援・住まい等が一体的に提供できる体制を目指しています。



地域に開かれた病院を目指します

浅香山病院は、地域の方々とのふれあいを大切に、また地域の医療・保健・福祉に貢献するための様々な取り組みを行なっています。

・講演会の開催・

患者さまや地域の方々、地域で活躍されている医療スタッフの方々を対象とした様々な『講演会』を開催し、病気に対する理解や知識を共有するための場を提供しています。
『浅香山健康セミナー』は浅香山病院の近隣にお住まいの方々対象で、健康管理に役立てていただくために無料で参加いただけるセミナーです。
『浅香山精神科研究会』では地域の診療所等の医師を対象に、当院での症例情報を発信しています。



・大学の研究者との協働・

看護師の教育について、院内だけでなく、より広い知見を身につけるため大学の研究者と、共同研究や意見交換を実施しています。また、病院での症例を大学と共有することで研鑽に活かしています。



・ボランティアさん・

地域の方々と当院との橋渡し役を担う『ボランティア』の方々の活動を通じて、患者さまや地域と一体化した医療の提供を目指しています。



地域の枠を超えて

・治験管理センター・

将来の新薬誕生という社会的な貢献をするため「治験管理センター」を設置し、参加いただいている方の人権と安全性を十分に守り、厳しい基準と十分な医療設備・体制のもと「治験」を実施しています。



臨床研究の促進・充実を目指して…

臨床研究研修センターを設置し、教育、研究、倫理の支援・推進を通じて、医療従事者の専門性を高め、信頼される人材の育成を図ることを目的に活動しています。

基幹・協力病院として臨床研修医の受け入れ、また基幹・連携病院として各科の専門医の育成を行うほか、医師をはじめとする医療従事者を育てる医療系大学・専門学校からの実習生を受け入れています。

また、学会発表のための論文作成などの支援を行い、年に一度、院内の多職種が執筆した原稿を掲載する「浅香山病院医学雑誌」を発行しています。



公益財団法人 浅香山病院 グループネットワーク

公益財団法人浅香山病院グループでは、全ての方々に対して創設以来の歴史の中で培われた“わざ”と“こころ”を受け継ぎつつ、先駆的な取り組みを実践し、様々な医療・保健・福祉を提供しています。また、各関連施設間はもちろんのこと、地域の医療機関や福祉施設、行政機関などと十分な連携を図り、地域の方々に安心して利用していただける環境を整えています。

公益財団法人浅香山病院は地域の トータルヘルスケアに貢献します



一般科



精神科

総合病院 浅香山病院

〒590-0018

大阪府堺市堺区今池町3丁3番16号

□日本医療機能評価機構 認定病院

□厚生労働省指定 基幹型臨床研修指定病院

●病床数：979床（一般病床：223床、精神病床：756床）

●診療科目：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、緩和ケア内科、外科、消化器外科、形成外科、内視鏡外科、泌尿器科（人工透析）、整形外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、皮膚科、眼科、婦人科、耳鼻咽喉科、歯科、神経内科、心療内科、精神科

●診療機能：一般診療分野（救急・急性期・回復期・緩和ケア・地域包括）

精神科分野（救急・急性期・精神一般・療養・認知症・地域移行）、精神合併症



堺市認知症疾患医療センター

〒590-0018

大阪府堺市堺区今池町3丁3番16号

TEL.072-222-9414

堺市から指定を受け認知症疾患医療センター事業を行っています。事業の目的は、保健・医療・福祉機関と連携を図りながら、認知症患者さまの専門医療福祉相談・鑑別診断・治療指針の選定に加え、地域保健医療・福祉関係者に技術援助を行なうことにより、地域の認知症患者さまの保健医療・福祉のサービスの向上を図ることとしています。



介護老人保健施設 みあ・かーさ

（在宅介護支援センター みあ・かーさ居宅介護支援事業所・堺第2地域包括支援センター）

〒590-0018

大阪府堺市堺区今池町4丁4番12号

TEL.072-229-9118

●入所サービス 100名 ●通所サービス 40名

「ゆっくり、のんびり、あったかく」をモットーに、スタッフ一同、心を込めて丁寧に関わることで、ご家庭のように安心して生活していただくことを目指しています。医療・介護・リハビリスタッフが連携し、少しでも在宅での生活が継続できるよう、様々な介護サービスを提供しています。



介護老人保健施設 かーさ・あもーれ

〒590-0018

大阪府堺市堺区今池町3丁3番16号

TEL.072-229-4882

●入所 29名（全室個室ユニット型）

●通所介護 10名

かーさ・あもーれはイタリア語で「愛の家」を意味し、少人数の家庭的な雰囲気の中で、「自分らしく」過ごしていただくための個別ケアをチームで実践しています。



社会福祉法人浅香山記念会

介護老人福祉施設 かーさ・びあんか

〒590-0018

大阪府堺市堺区今池町4丁4番8号

TEL.072-229-6266

●入所 62名（全室個室ユニット型）

●通所介護 30名 ●認知症通所介護 12名

かーさ・びあんかはイタリア語で「白い家」を意味し、白に象徴されるような、明るくさわやかで、笑顔が絶えない温かい家にしていくことを目指し、安定した介護と生活環境を提供しています。



社会福祉法人浅香山記念会

かーさ・びあんか 三国ヶ丘

〒590-0021

大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町2丁4番1号

TEL.072-222-2555

●入所 29名（全室個室）

閑静な住宅街の中に開設したユニット型の地域密着型介護老人福祉施設です。緑に囲まれ落ち着いた雰囲気の中で、一人ひとりが個性的で自由な生活が営まれるよう支援しています。



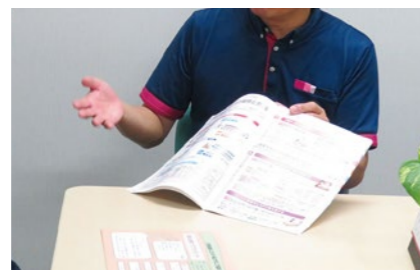
ひまわり訪問看護ステーション

〒590-0018

大阪府堺市堺区今池町3丁3番16号

TEL.072-222-9011

地域ケアの一端を担うべく在宅看護を実践しています。ターミナルケアや難病などの利用者が、最期まで在宅でその人らしく生活されることの支援や精神科訪問看護など、それぞれの専門性を磨き、看護サービスの向上を目指しています。



浅香山病院ケアプランセンター

〒590-0018

大阪府堺市堺区今池町3丁3番16号

TEL.072-229-2348

住み慣れた自宅などで暮らしたいと希望される利用者さまが、安心して生活できるように、医療・福祉と連携を図り、一人ひとりの心身の状態などに合ったケアプラン（介護サービス計画）の作成や、介護保険に関する相談を受け、自立した日常生活を過ごしていただけるようサポートしています。



メンタルヘルスケアセンター フィオーレ

〒590-0018

大阪府堺市堺区今池町3丁3番16号

TEL.072-229-2387

近年、仕事による過労やストレスなどの原因によるメンタル不調が年々増加しています。当センターでは、各企業を対象にメンタルヘルスケアに関する予防・早期発見・復職支援まで、一貫したサポートを行っています。



アンドンテ就労ステーション

〒590-0018

大阪府堺市堺区今池町3丁3番16号

TEL.072-229-9192

一般就労を目指しておられる方の相談・訓練から就職活動・職場定着まで一貫して行なっています。訓練の場として雑貨と惣菜のショップ「てくてく商會」を運営しています。



サポートハウス アンドンテ

〒590-0014

大阪府堺市堺区田出井町8番20号

TEL.072-225-0850

共同生活援助（グループホーム）として、利用者が安心して生活が続けられると共に、それぞれの望む健康な生活の実現に近づける支援を行なっています。施設名は利用者の方と歩調を合わせて、一歩ずつ進んでいこうという思いで、アンドンテ「歩くような早さで」と名付けています。



公益財団法人 浅香山病院看護専門学校

〒590-0014

大阪府堺市堺区田出井町8番20号

TEL.072-228-2145

ホームページ：<http://anc.ac.jp>

●看護師3年課程（全日制） ●定員33名（男女共学）
少子高齢社会を迎え、看護が必要とされる“場”も臨床から在宅へと拡がってきています。幅広い知識や高度な技術、そして豊かな人間性が求められています。学生一人ひとりと向き合い、個性を活かし、“いのち”“人間らしさ”を大切にできる人材育成を目指しています。